

第17回

平成29年11月22日

著作権の制限

杉山 務

29年度17【知的財産法】杉山 務

「替え歌」は違法なのか？

「会いたい」の沢田知可子と作詞家が裁判沙汰

2014/12/9 19:05

90年代のヒット曲「会いたい」の歌詞をめぐる、作詞家の沢ちひろさんから**著作者人格権**を侵害したと提訴され、慰謝料を請求された歌手の沢田知可子さんが、2014年12月8日、ブログに「訴状が届いていないので正確なお答えが出来ませんが、報道を観て大変ショックを受けております」と書いた

沢さんが提訴に踏みきったきっかけは、沢田さんがバラエティー番組で「会いたい」を「安定したい」と替え歌にしたことだという。はたして**替え歌に違法性**はあるのだろうか

<http://www.j-cast.com/2014/12/09222829.html>

2

29年度17【知的財産法】杉山 務

著作権の制限

定められた条件のもとで、著作権者の許諾を受けることなく無断で利用できる場合があります、利用にあたっては、原則として出所の明示が必要となる

- (1) 私的使用のための複製(30条)
- (2) 図書館等における複製(31条)
- (3) 引用(32条)
- (4) 教科用図書等への掲載(33条)
教科用拡大図書等の作成のための複製(33条の2)
- (5) 学校その他の教育機関における複製(35条)
遠隔授業教材の送信
- (6) 試験問題としての複製(36条)
インターネットによる試験問題の送信
- (7) 点字による複製等(37条)
聴覚障害者のための自動公衆送信(38条)
- (8) 営利を目的としない上演等(38条)

これらの規定は、
著作者人格権に
影響を及ぼすもの
ではない。(50条)

3

29年度17【知的財産法】杉山 務

著作権の制限

- (9) 時事問題に関する論説の転載等(39条)
政治上の演説等の利用(40条),
時事の事件の報道のための利用(41条)
- (10) 裁判手続等における複製(42条)
- (11) 情報公開法 等による開示のための利用(42条の2)
- (12) 翻訳, 翻案等による利用(43条)
- (13) 放送事業者等による一時的固定(44条)
- (14) 美術の著作物等の原作品の所有者による展示(45条),
公開の美術の著作物等の利用(46条),
美術の著作物等の展示に伴う複製(47条)
- (15) プログラムの著作物の複製物の所有者による複製等(47条の2)
- (16) その他, 写り込み等の利用(24年改正)

4

29年度17【知的財産法】杉山 務

4 教育関係における利用 (33条)

「検定教科書」等への掲載

公表されている著作物であること
学校教育の目的上必要な限度内であること
掲載したことを著作者に通知すること
文化庁長官が定める「補償金」を著作権者に支払うこと
「出所の明示」が必要

「拡大教科書」作成のためのコピー(弱視の児童・生徒用)

教科書に掲載された著作物であること
教科書の全部又は相当部分の複製は、教科書発行者に通知すること
営利目的の場合は、補償金を著作権者に支払うこと

5

29年度17【知的財産法】杉山 務

5 教育機関における複製 (35条)

「複写・配布」

著作物を利用する場合、「公正な慣行」に合致するとともに、慣行があるときは出所の明示が必要

学校などで教員や学習者が教材作成などを行うためにコピー・配布する場合
インターネット上のデータをプリントアウトして配布する場合も含む

営利を目的としない教育機関であること
授業を担当する教員等やその授業等を受ける学習者自身がコピーすること
授業の中でコピーする本人が使用すること
必要な限度内の部数であること
公表されている著作物であること
著作物の種類や用途などからみて、著作権者の利益を不当に害しないこと (学習者が購入することを前提とした著作物, 例, ドリル, ソフトウェア)

6

29年度17【知的財産法】杉山 務

教育機関における公衆送信 (35条)

「公衆送信」

著作物を利用する場合、「公正な慣行」に合致するとともに、慣行があるときは**出所の明示**が必要

学校などで、「主会場」での授業が「副会場」に同時中継(公衆送信)されている場合に、主会場で用いられている教材を副会場向けに送信する場合

営利を目的としない教育機関であること
「主会場」と「副会場」がある授業**形態**であること
その教育機関で「授業を受ける者」**のみへ**の送信であること
生中継される授業を受信地点で「**同時**」に受ける者への送信であること
主会場での**教材**として、配布、提示、上演、演奏、上映、口述されている著作物であること
著作物の種類や用途などからみて、著作権者の利益を**不当**に害しないこと

※ 放送大学は、上記条件を満たさない

7

29年度17【知的財産法】杉山 務

教育関係における利用

「学校教育番組」作成のためのコピー

公表された著作物であること
学習指導要領に**準拠**した番組であること
学校教育の目的上、**必要限度**内であること
放送したことを著作者に**通知**すること
補償金を著作権者に支払うこと

「試験問題」作成のためのコピー・公衆送信 (36条)

東高120911「小学校用国語副教材」事件

小学校の国語の**副教材テスト**に「作品を無断で使われ、著作権を侵害された」として、詩人の**谷川俊太郎**ら作家9人が教材会社6社に出版差し止めを求めた仮処分で、高裁は、申し立てを却下した東京地裁の決定を変更し、**出版差し止め**を命じる決定をした

8

29年度17【知的財産法】杉山 務

福祉関係における利用

著作物を利用する場合、「公正な慣行」に合致するとともに、慣行があるときは**出所の明示**が必要

「**点訳**」のためのコピー 点字に訳してコピー
「点訳」データの**蓄積・送信**
「**録音図書**」等の製作
「**字幕**」の自動公衆送信 リアルタイム字幕の送信

報道関係における利用

「**時事**の事件」の報道する場合
「行政機関での公開演説」等の**報道**のための利用
「情報**公開法**」に基づく「**開示**」等のための利用

「立法」「司法」「行政」のための内部利用

9

29年度17【知的財産法】杉山 務

非営利・無料の場合における利用

「上演;演奏;口述;貸与」 (38条)

学校の学芸会, 市民グループの発表会, 公民館での上映会

営利を目的とせず, 聴衆・観衆から**料金**を受けず, 出演者等に**報酬**が支払われないこと

「本などの貸与」

図書館における本の貸し出し

営利を目的とせず, 貸与を受ける者から**料金**を受けないこと

「ビデオなどの貸与」

ビデオライブラリーなどにおけるビデオなどの貸し出し

営利を目的とせず, 貸与を受ける者から**料金**を受けないこと
権利者に「**補償金**」を支払うこと

10

29年度17【知的財産法】杉山 務

非営利・無料の場合における利用

(38条)

「放送番組等の伝達」

喫茶店に置いてあるテレビなどで放送を「公に伝達」する場合

営利を目的とせず、聴衆・観衆から**料金**を受けないこと
通常の**家庭用**受信機を用いること

「放送番組の有線放送」

「共用アンテナからマンション内への配信」など、放送を受信して直ちに有線放送する場合

営利を目的とせず、聴衆・観衆から**料金**を受けないこと

11

29年度17【知的財産法】杉山 務

条文の読み方

「放送番組等の伝達」

喫茶店に置いてあるテレビなどで放送を「公に伝達」する場合

営利を目的とせず、聴衆・観衆から**料金**を受けないこと
通常の**家庭用**受信機を用いること

(営利を目的としない上演等)

第三十八条 公表された著作物は、営利を目的とせず、かつ、聴衆又は観衆から料金(いずれの名義を**もつて**するかを問わず、著作物の提供又は提示につき受ける対価をいう。以下この条において同じ。)を受けない場合には、公に上演し、演奏し、上映し、又は口述することができる。ただし、当該上演、演奏、上映又は口述について実演家又は口述を行う者に対し報酬が支払われる場合は、この限りでない。

3 放送され、又は有線放送される著作物(放送される著作物が自動公衆送信される場合の当該著作物を含む。)は、**営利を目的とせず、かつ、聴衆又は観衆から料金を受けない場合には**、受信装置を用いて公に伝達することができる。**通常**の**家庭用受信装置を用いてする場合も、同様とする。**

参考：刑法176条 十三歳以上の男女に対し、暴行又は脅迫を用いてわいせつな行為をした者は、六月以上十年以下の懲役に処する。十三歳未満の男女に対し、わいせつな行為をした者も、同様とする。

12

29年度17【知的財産法】杉山 務

美術品：写真：建築における利用

(45～47条)

「美術品」「写真」の原作品の所有者による展示

美術の著作物のオリジナルを、街路・公園等や、ビルの外壁など一般公衆の見易い屋外の場所に恒常的に設置する場合でないこと

屋外設置の「美術品」「建築物」の利用

同じものをコピーして増製ないこと

「美術展の小冊子の製作」

展示のときに、解説・紹介のための小冊子へのコピー

オリジナルを展示する者がコピーすること
展示が**展示権**の侵害とならないこと

13

29年度17【知的財産法】杉山 務

コンピュータプログラムの利用 (47条の2)

「プログラム所有者」によるコピー

バックアップやプログラムの修正・改良の場合

所有者がプログラムを利用するために必要な限度内
海賊版と知って入手したものでないこと

リバースエンジニアリング(RE)はどうなりますか？

技術の発展にはREは不可欠であり、特許権侵害にはならない

REには、複製が当然に行われる

また、ネット上のデータを視聴する際には、パソコンのメモリ又はHDに複製される

14

29年度17【知的財産法】杉山 務

写り込み等の利用

(1) 付随対象著作物の利用 (30条の2)

- ① 写真を撮影したところ、本来意図した撮影対象だけでなく、**背景に小さく**ポスターや絵画が写り込む場合
- ② 街角の風景をビデオ収録したところ、本来意図した収録対象だけでなく、ポスター、絵画や**街中で流れていた**音楽がたまたま録込まれる場合
- ③ 絵画が背景に小さく写り込んだ写真を、**ブログ**に掲載する場合
- ④ ポスター、絵画や街中で流れていた音楽がたまたま録込まれた映像を、放送やインターネット**送信**する場合

15

29年度17【知的財産法】杉山 務

写り込み等の利用

(2) 検討の過程における利用 (30条の3)

- ① 漫画のキャラクターの商品化を企画するに際し、著作権者から許諾を得る以前に、社内の**会議資料**や企画書等にキャラクターを掲載する場合
- ② 映像にBGMを入れるに際し、著作権者から許諾を得る以前に、どの楽曲を用いるかを検討するために、実際に映像にあわせて**楽曲を録音**する場合
- ③ 権利者不明の著作物に関し、裁定制度を利用するか否かを検討するに際し、社内の会議資料や企画書等に著作物を掲載する場合

16

29年度17【知的財産法】杉山 務

写り込み等の利用

(3) 技術の開発又は実用化のための試験の用に供するための利用(30条の4)

- テレビ番組の録画に関する技術を開発する場合に、技術を検証するため、実際にテレビ番組を録画してみる場合
- 3D(三次元)映像の上映に関する技術を開発する場合に、技術を検証するため、3D映像が収録されたBlu-ray Discを上映してみる場合

(4) 情報通信技術を利用した情報提供の準備に必要な情報処理のための利用(47条の9)

- 様々なファイル形式でサーバーにアップロードされているファイルを、統一化したファイル形式にするために必要な複製が行われる場合
- 各種インターネットサービスにおいて、分散処理による情報処理の高速化のため、サーバー上で必要な複製が行われる場合

著作物の利用のみならず、実演、レコード、放送又は有線放送の利用についても同様に、著作隣接権者の許諾を得なくても利用することが侵害行為に当たらない。(102条1項)

17

29年度17【知的財産法】杉山 務

まとめ

ご清聴 ありがとうございました。

18回(24日:金)は、著作隣接権と罰則

18

29年度17【知的財産法】杉山 務

著作権の制限(30～50条)

著作権者の許諾を受けることなく無断で利用できる場合

なお、利用にあたっては、原則として出所の明示が必要となる（48条）

これらの規定は、著作人格権については制限されず、目的外使用も侵害となる。

- 1 私的使用のための複製(30条)：テレビ番組の録画、音楽CDの携帯へのコピー
 - ・家庭内などの限られた範囲内で仕事以外の目的に利用すること
 - ・使用する本人がコピーすること
 - ・誰でも使える状態で設置してあるダビング機などを用いないこと
 - ☆当分の間は、コンビニのコピー機など「文献複写」のみに用いるものは除く
 - ・コピープロテクション（コピーガード）を解除してコピーするものでないこと¹
 - 解除されていることを知りつつコピーするものでないこと
 - 2 図書館等における複製(31条)
 - ・図書館等が所蔵している資料を用いて利用者の調査研究の目的のために、公表された著作物の一部分を一人につき1部提供するための複製であること
 - 3 引用(32条)
 - ・公表されている著作物で研究など引用する必然性があり、引用部分が明確に区別され、主従関係が明確であること
 - ★美術鑑定証書事件 知財高裁 221013
 - 4 教科用図書等への掲載(33条)：教科用拡大図書等の作成のための複製(33条の2)
 - 5 学校その他の教育機関における複製(35条)：遠隔授業教材の送信
 - 営利を目的としない教育機関で教員や学習者自身が、公表されている著作物を必要な限度内の部数コピーし、授業の中で使用すること
 - 6 試験問題としての複製(36条)：インターネットによる試験問題の送信
 - 7 点字による複製等(37条)：聴覚障害者のための自動公衆送信
 - 8 営利を目的としない上演等(38条)
 - 営利を目的とせず、聴衆・観衆から料金等を受けず、出演者等に報酬が支払われないこと
 - 放送され、又は有線放送される著作物（放送される著作物が自動公衆送信される場合の当該著作物を含む。）は、営利を目的とせず、かつ、聴衆又は観衆から料金を受けない場合には、受信装置を用いて公に伝達することができる。通常¹の家庭用受信装置を用いてする場合も、同様とする。
 - 9 時事問題に関する論説の転載等(39条)：政治上の演説等の利用(40条)
 - 時事の事件の報道のための利用(41条)
 - 10 裁判手続等における複製(42条)
 - 11 情報公開法 等による開示のための利用(42条の2)
 - 12 翻訳、翻案等による利用(43条)
 - 13 放送事業者等による一時的固定(44条)
 - 14 美術の著作物等の原作品の所有者による展示(45条)
 - 公開の美術の著作物等の利用(46条)
 - 美術の著作物等の展示に伴う複製(47条)
 - 15 プログラムの著作物の複製物の所有者による複製等(47条の2)
 - 16 付随対象著作物の利用（30条の2）；写り込み、録込み
 - 17 検討の過程における利用（30条の3）；著作権者から許諾を得る前の検討
 - 18 技術の開発又は実用化のための試験の用に供するための利用（30条の4）
 - 19 情報通信技術を利用した情報提供の準備に必要な情報処理のための利用（47条の9）
 - 著作物の利用のみならず、実演、レコード、放送又は有線放送の利用についても同様に、著作隣接権者の許諾を得なくても利用することが侵害行為に当たらない。（102条1項）
- ※ フェアユース：一般的な制限規定に係る「フェアユース」は検討保留

¹ 附 則 （施行期日）

第一条 この法律は、昭和四十六年一月一日から施行する。

（自動複製機器についての経過措置）

第五条の二 著作権法第三十条第一項第一号及び第百十九条第二項第二号の規定の適用については、当分の間、これらの規定に規定する自動複製機器には、専ら文書又は図画の複製に供するものを含まないものとする。